

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年12月5日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学		代表者名	斉藤大二郎
担当者部署	経済学部 経営学科		連絡先電話番号	0276-32-7869
担当者役職	准教授	担当者氏名	中谷淳一	連絡先E-mail
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久町200番地			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課
担当者氏名	齋藤尚仁	連絡先電話番号	0276-47-1892
		連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	参加者とのコミュニケーションを取りながら、オンラインでありながらリアルで実施しているのと変わらない研修を実施していただけます。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月13日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体・企業・団体	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DXの考え方や実際の取組み事例に対する情報不足	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地域中小零細企業の活性化を通じた地域活性化を目指した、関係団体・組織の有機的な連携	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DXの考え方、実際の取組み事例	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DXの考え方や実際の取組みを知ることができ、必要性を認識した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	企業や組織・地域におけるDXの具体的な進め方	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 12月の実施回でアンケートを実施予定のため、11月は実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	研究会参加者で具体的な事業推進を行える状態	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

